

進路通信

伊丹市立松崎中学校第3学年
第58号
(第60号を最後とします)
令和3年(2021年)3月8日(月)

併願で入学した話



先日、ある新聞を手に入れました。それは、大商学園高校の新聞部と生徒会が発行している「大商学園新聞」第125号(令和3年2月28日付)です。そこに、卒業する3年生の各クラスごとに担任の先生の贈る言葉と、各クラスごとの代表生徒の作文が載っています。それら13学級の中でも、特に胸に響いた生徒作文を紹介したいと思います。本文をそのまま転記できませんので、おおまかな内容を書きますね。よろしくお願いします。

作文の出だしは、公立高校に行きたかったけれど、併願で大商学園高校に入学した時の気持ちから始まります。その気持ちとは、後悔だけが残り、胸が苦しい思いをしたそうです。希望に満ちた1年生の春ではなかったことが伝わってきました。

自分の中で変化が起きるのは、なんでもない、クラスや部活の仲間のおかげだったと話が進みます。きっかけは何か大きなこと、例えば検定資格を取得できたとか、女子サッカーの全国大会に出たとか、または一生の恋をしたのかと思いきや、中学生のみんなも経験済みであろう、仲間との出会いだったのです。そして、「どうでもいいや」という気持ちから「絶対後悔しない」気持ちに変化したと振り返ります。

さらに、大学進学に向けて努力するようになり、その中で担任の先生や家族に対する感謝の気持ちも綴っています。おそらく、高校生活の中でたくさんの支えがあることに気づいたのでしょう。さらに、信念になる言葉とも出会ったようです。その言葉とは「自分で選んだ道を誇りに思いたい。だから努力するんだ」という言葉です。

後悔が胸に残っていた高校生活のスタートでしたが、作文の最後は、3年間の高校生活が楽しいことばかりだったことと、全ての人に感謝している気持ちで締めくくられています。それは、色んな仲間と出会ったり熱心な先生に出会ったりする中で心がどんどん更新され、さらに今まで一緒に過ごしていた家族の支えにも感謝できたということです。

どこの高校に行っても、最後は充実した高校生活だったと思ってほしい。それは中学校の先生の願いです。大商学園に限らず、どこの高校でも色んな人と出会う中で、充実した生活を送ることはできるでしょう。専願や併願は最初こそこたえるかも知れませんが、入った学校で素敵な仲間や先生と出会ってほしいなと思います。

これから公立学力検査を受ける生徒で、併願合格校に進む場合もあります。また、専願合格の場合でも、春から隣の机に併願合格者が座るかも知れません。専願や併願や第一志望など、それは受験の上で決めていた自分の基準です。それと高校生活の中身は関係ありません。この先の高校生活で、色んな気の合う仲間と出会ってほしい。そして、大商学園に進んだ生徒のように、「この高校に進んでよかった」と思ってほしい。心からそう思います。

今週金曜日が兵庫県公立学力検査です

受験する人はもう知ってると思いますが、12日(金)は兵庫県公立高校の学力検査です。

そう、卒業式の翌日です。卒業式の後にはすぐに帰宅して、翌日に備えるべきでしょう。なぜなら、卒業式後すぐに勉強をし始め、午後10時くらいに解いた問題がそっくりそのまま学力検査に出るかもしれません。しかし、卒業式後ダラダラと過ごしてしまい、翌日に出てくる問題までたどり着けなかったらどうでしょうか。結果は悲しい結末でありましょう。

前日に解いた問題が、次の日の入試に出たという話はよく聞く話です。そっくりそのままじゃなくても、類似問題といって、実際の問題に近いものに出くわすことがあります。

学力検査の前日は受験勉強の最終日です。最後の最後まで努力をした人に受験の女神がほほえむんじゃないかなと思います。そして、受験をただの入試にするのではなく、前から言っていますが、成長する手段にしてほしい。自分の弱さを知ったならそこを克服しなさいよ、ということです。



武庫荘総合と阪神昆陽と武庫工業と尼崎北と武庫荘

武庫荘総合高校は2003年に設立されましたが、それまでは武庫工業高校の校舎でした。その名残として、武庫総の豊富な選択科目の中に、工業系の科目があります。総合高校で工業系の資格が取れるのは武庫総の特色といえます。

阪神昆陽高校は2012年の設立で、それまでは武庫荘高校という全日制普通科の高校でした。その武庫荘高校は2005年に閉校となりましたが校舎は取り壊さず、阪神昆陽高校になるまでに7年の空白期間がありました。その空白期間中、一時的に尼崎北高校として使用されたといえます(尼北が改修のため)。ちなみに、旧武庫荘高校が臨時尼北高校の時に、廣先生は校舎に立ち入ったそうです。貴重な体験ですね。

廣先生の解説によると、武庫荘高校と武庫工業が合体して武庫総高校になったそうです。そして、阪神昆陽は伊丹市立高校と川西高校と同高校の宝塚良元校とが合わさった高校で、同一敷地内に阪神昆陽特別支援学校があり、インクルーシブ教育の拠点ともいえます。

ちなみに、旧武庫工業の溶接科は全国的にトップレベルの溶接技術を習得できたそうです。例えばロープで宙づりになり、そんな不安定な中でも大型船舶を溶接できたそうです。そのため、阪神間の大手の船舶製造会社に就職していたそうです。5校の歴史でした。

兵庫県公立定時制再募集・新型コロナ追検査 3月26日(金)発表 定時3/27(土) 追検査3/28(日)